

テーマ：北方領土（実践校）

宗谷管内 枝幸町立目梨泊小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、校内に北方領土の歴史や文化の展示コーナーを設置するとともに、「公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟」の方を外部講師として招き、講話や映像を通して、児童の課題意識を高め北方領土について探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、「公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟」の方の講話を通して、児童は北方領土の歴史・文化等に興味・関心をもち、「北方領土の歴史と文化を学び、分かったことや考えをまとめ、ポスターを作り全校児童に伝える」という課題を明確にしました。



【資料を確認する様子】

(2) 情報の収集

北方領土対策協会の動画や地図を活用したり、「公益財団法人 千島歯舞諸島居住者連盟」の方の講話の際に質問したりしたことにより、児童は北方領土の自然環境や課題の解決に必要な情報を収集するとともに、北方領土への理解を一層深めていました。



【外部講師との交流の様子】

(3) 整理・分析

収集した情報について、自然環境や歴史など明らかになったことをテーマごとに整理するとともに、各テーマに基づいて、自分たちの暮らす地域と北方領土を比較することにより、学びを深めました。



【ポスターを作成する様子】

(4) まとめ・表現

学習の成果として、分かったことや今後の北方領土の在り方などについて、全校児童に伝えるため、ポスターにまとめ、校内に掲示するとともに、互いの感想を交流することにより、次の学習への課題を見出していました。

②児童の感想

- ・昔は、北方領土で日本人が平和に暮らしていたということが心に残りました。みんなが助け合ったり仲良くしたりして、平和に住めるようになるとよいと思いました。
- ・北方領土に住んでいた人が暮らせなくなり、かわいそうだと思います。住んでいた町が占領されたことに、きっと驚いたと思います。日本人がもっと北方領土に行けるようになって、そこに住んでいる人と仲良くなり、行ったり来たりできるとよいと思います。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 単元を通して、北方領土に係る学習を行ったことにより、全ての児童がアンケートで事前、事後とともに「この学習に興味をもち、取り組むことができた。」と回答するなど、北海道の自然やふるさとへの関心を高めることができました。
- 北方領土についての調査や外部講師による講話等を聞いたことにより、事後アンケートにおいて、9割以上の児童が「自分の住んでいる地域や北方領土について、もっと調べてみたい」と回答するなど、自分たちの住んでいる地域や北方領土の歴史、文化に対する興味・関心を高めることができました。
- 児童がより一層、地域の歴史や文化に興味・関心をもち、主体的に課題を探究できるよう、継続して展示コーナー等を設置するなど、年間を通して情報を発信できるよう工夫する必要があります。